

【法的根拠】
 日本国憲法
 教育基本法
 学校教育法
 学習指導要領

学校の教育目標
 自立・貢献・生き抜く力

【地域の実情】期待があり、協力的。
 【学校の実情】地域に根ざしている。
 【生徒の実態】思いやり・寛容の不足。
 【教師の願い】思いやりを持ち、努力する生徒
 【保護者の願い】思いやりを持ち、素直な生徒

学校の道徳教育の重点目標
 事象を多面的・多角的に捉えることで他者との共生や異なるものへの寛容などの感性及び道徳的価値を大切にすることを育成する。
 「学校2020レガシー」の取組として、国際理解教育を通して、異文化理解から人権教育を学び、人権意識を高める。

各学年の指導の重点

<p>第1学年</p> <ul style="list-style-type: none"> 相手の人格を尊重し、互いに思いやる心をもつ。 自分の個性に気づき、その個性を伸ばして充 	<p>第2学年</p> <ul style="list-style-type: none"> 自主的に考え行動し、結果に責任をもてるようにする。 自分の個性を理解し、その個性を伸ばして 	<p>第3学年</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の弱さを克服し、生きる喜びを見いだす。 自己を見つめ、個性を伸ばして充実した生き方を追求する態度を育てる。
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

各教科

国語
 ・言語感覚を豊かにし、思考力や想像力を養うことで、道徳的心情や道徳的判断力を

社会
 ・郷土愛や社会性を育むために、国土と歴史に対する理解を深め、国際社会に生きる

数学
 ・工夫して生活や学習をしようとすることを育むために、考察、表現する能力を高める。

理科
 ・自然の事物・現象に対する探求する能力を養うことで、自然への畏敬を育成する。

音楽
 ・豊かな情操を養うことで、美しいものを美しいと思える心を持てる感性を育成する。

美術
 ・豊かな情操を養うことで、美しいものを美

保健体育
 ・生涯、健康の保健増進のための実践力の育成と明るく豊かな生活を営む態度を育成

技術・家庭
 ・進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育成する。

外国語
 ・言語や文化に対する理解を深め、世界平和、人間愛を育成する。

読書科
 ・探求的な学習を通して、生涯にわたって主体的に学び続ける資質・能力を育成する。

特別の教科 道徳

各学年の重点内容項目

1年
 ・望ましい生活習慣を身に付け、心身の健康の増進を図り、節度を守り節制に心掛け調和のある生活をする。
 ・温かい人間愛の精神を深め、他の人々に対して思いやりの心をもつ。
 ・自分の個性に気づき、その個性を伸ばして充実した生き方を追求する態度を育てる。

2年
 ・自律の精神を重んじ、自主的に考え、誠実に実行して結果に責任をもつ。
 ・友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合う。
 ・自分の個性を理解し、その個性を伸ばして充実した生き方を追求する態度を育てる。

3年
 ・自己を見つめ、自己の向上をはかるとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求する。
 ・礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な言動をとる。
 ・人間には弱さや醜さを克服する強さや気高さがあることを信じて、人間として生きる喜びを見いだすように努める。

指導方針
 ・道徳性を養い、心豊かな人間性の育成を図るために道徳の時間を要した道徳教育を推進する。
 ・道徳性の基礎を育成するために、全教育活動を通じて道徳性を育成する。
 ・地域社会の一員として自覚をもたせ、社会性を身に付けさせるために、奉仕活動・職場体験などの体験的な学習を重視する。
 ・全校体制による道徳授業地区公開講座を実施する。

指導の工夫
 ・道徳教育推進教師、各学年の道徳教育担当者が中心となり、全教員による道徳授業の指導方法の改善を行う。
 ・各教科において道徳教育と関連がはかれるよう指導内容を工夫する。
 ・ローテーション道徳を全学年で実施する。

特別活動

学級活動
 ・個人及び社会の一員としての在り方を育成する。
 ・将来の生き方について考えさせる。

生徒会活動
 ・活動を通して自主的な態度や実行力を育成する。

学校行事
 ・集団の一員としての自覚を育成する。
 ・感動的な体験を通して豊かな情操を育成

総合的な学習の時間

・地域社会の一員として地域の文化、歴史を探究し地域を愛する心を育てる。
 ・地域での体験を基に社会性を身につけさせる。
 ・自ら課題を見つけ、学び考え探求することで主体的に判断し、解決する生きる力を育む。
 ・現在や将来を真剣に考え自己の生き方を考える力を育成する。
 ・豊かなこころや創造性の涵養を目指し、生徒のプレゼンテーションスキルを向上させ、自己表現力を身につけさせる。

生活指導
 ・集団の一員としての自覚を高め、社会性を育成する。
 ・基本的な生活週間を身につけさせる。

環境整備
 ・清掃活動、日直活動、当番活動、地域美化活動、花壇の整備
 ・生徒作品の校内掲示

家庭・地域との連携
 ・保護者会、学校公開の実施
 ・学校・学年・学級だよりの配布

推進体制
 ・道徳教育推進教師を中心とする組織。
 ・全校体制による道徳授業地区公開